

『データ構造とアルゴリズム (データサイエンス大系)』

(川井明・梅津高朗・高柳昌芳・市川治 共著, 学術図書出版社)

正誤表 第1版 第1刷用

頁	行	誤	正
37	15	$x = \frac{1}{\log 2} \log n$	$x = \frac{1}{\log 2} \log N$
44	下3	i を 0 から n まで変えて	i を 0 から N まで変えて
83	下11	その末尾のデータを取り出す.	その先頭のデータを取り出す.
88	6	キューの戦鬪と末尾が接続され	キューの先頭と末尾が接続され
88	下1	キューオーバーフロー	キューオーバーフロー
105	6	与えられた条件に満たす	与えられた条件を満たす
112	5	かかる計算量は $\mathcal{O}(1)$ である.	かかる計算量は $\mathcal{O}(1)$ である. ただし, 挿入処理を行う前に, 挿入点を決めるための探索操作が必要なため, アルゴリズム書によっては, 両方合わせた時間計算量 $\mathcal{O}(\log N)$ を挿入時間計算量とすることがある.
112	下2	木の長さが N で線形探索と同じになるため	木の長さが $N-1$ で線形探索と同じになるため
112	下2	最大探索回数は N である	最大探索回数は $N-1$ である
112	下1	最悪時間計算量は $\mathcal{O}(N)$ である	最大時間計算量は $\mathcal{O}(N)$ である
131	図 7.4		
154	1	<pre> 1 file = open('source.txt') 2 3 for line in file: 4 for word in line.split(): 5 word = word.lower() 6 print(word) </pre>	<pre> 1 file = open('source.txt') 2 3 for line in file: 4 for word in line.split(): 5 word = word.lower() 6 print(word) </pre> <p>(5行目と6行目にインデントを追加)</p>